

山入端市長 2 期目就任のあいさつ

このたび、市民の皆さまからのご信任を賜り、第 19 代羽曳野市長として引き続き 2 期目の市政運営を担わせていただくこととなりました。改めて責任の重大さを痛感するとともに、皆さまのご期待に応えるべく全身全霊で市政運営に取り組む所存でございます。

これまでの 1 期目 4 年間では、就任当初コロナ禍という未曾有の事態に直面しておりましたが、国や大阪府と連携を密にし、迅速にワクチン接種体制を整えるなど新型コロナウイルスの感染拡大の防止に尽力いたしました。また、安心・安全なまちづくり、子どもたちへの投資は優先度の高い事項と考え、時には教育現場、時には避難所となる市内小中学校の体育館すべてにエアコンを設置し環境改善を図ってまいりました。

2 期目では、「交通・インフラ整備の促進」「子育て支援・学校教育の充実」「市民協働・地域自治・経済対策」「魅力あるまちづくり」「健康・福祉の充実と向上」「行財政改革の推進と DX 化」など多角的に誰一人取り残すことのないよう事業を推し進めてまいります。

世界遺産などの豊かな歴史資産、魅力あふれる農作物やお肉にワインといった羽曳野のポテンシャルをさらに深掘し、大阪はびきの観光局と協力することで、広報力・知名度を高め、羽曳野市に新たな付加価値をつけていきたいと考えています。

「みんなの想いが形になり、どんどん良くなる羽曳野市」を目指してまいりたいと考えておりますので、引き続き市民の皆さまにはご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

羽曳野市長 山入端 創

生活の実現

安全・安心でいきいきとした

特殊詐欺対策を強化
老朽化する道路の舗装改修費を増額
横断者注意喚起灯の増設
郡戸大堀線整備の促進
八尾富田林線整備の促進
交通渋滞の緩和
災害時を含めた医療連携の強化
大型防災備蓄倉庫を増設
避難所設備の充実
各種災害協定の推進
災害時ペットとの同行避難体制を構築
まちの美化を推進するためシニアボランティアサポート事業の創設
地球温暖化対策の推進、空き家を活かした地域づくり
動物愛護の取り組みを促進、峰塚公園にドッグランを設置
中央スポーツ公園の芝生化、西浦テニスコートを新設
東京大学高齢社会総合研究機構と連携、AI活用による健康データ分析、フレイル予防
認知症対策のさらなる強化
高齢者が抱えるリスクへの支援
歯周病予防の充実
きめ細やかな介護予防の充実
施策、事業を横断的に結び付け新たな高齢者健康づくり事業の創設
歩道バリアフリー化の推進
より便利な公共施設循環福祉バスへ
多世代交流を通じた高齢者の活躍推進
公園に健康遊具の増設

次世代育成 子どもの笑顔あふれる

児童発達支援の充実

児童虐待対策の強化

ボール遊びができる場を増設

子どもが遊べるよう峰塚公園噴水広場を芝生化

雨天でも遊べる屋内プレイパークを設置

＜乳幼児＞

公園に乳幼児遊具を増設

第3、第4こども園を新設

継続した待機児童ゼロに向けた保育枠の確保

支援が必要な子どもに対する適切な教育、保育環境の整備

＜小、中、学校園＞

複数担任制度の拡充

英語教育の推進

オンライン国際交流を推進

小学校において学びなおしができる場を整備

給食費の公費支援を継続

中学校給食全員喫食の実施

中学校給食の無償化

羽曳野の未来創生

未来につながる選ばれる

町会制度の充実、支援強化

企業立地の促進による地域経済の活性化

若者が抱える奨学金返還を支援し、地元企業への雇用促進・生産年齢人口増加へ

農業支援施策の充実と付加価値向上の取り組み

駅を中心とした魅力向上の取り組み

道の駅を活性化

郷土愛を育む、市民を対象とした歴史ツアーを実施

文化財歴史博物館を新設

大阪観光局と大阪はびきの観光局の連携強化による魅力あるイベントの開催

大阪公立大学羽曳野キャンパス閉鎖後の有効活用について府と協議

退職金全額カット

市長報酬20%カット

防災機能強化や歴史資源と調和した新庁舎建設

公共施設の総量、管理コストの最適化

行政手続きのスマート化による利便性の向上

デジタル環境の整備による業務の効率化

適正な生活保護制度の実施（公正公平・適正化対策強化）

＜問合せ＞秘書課